



YMCA KOBE

Y M C A NEWS

神戸青年 No.612

2011.11.12 Nov・Dec

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7 THE YMCA神戸版 発行人/水野 雄二 編集人/松森 正樹 神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15 TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479 URL http://www.kobeymca.or.jp 印刷/わかばやし印刷



125周年記念講演会&シンポジウム

去る9月10日に、創立125周年記念イベントの一環として、記念講演・シンポジウムが神戸教会で開催されました。講演には、前東京女子大学学長の湊晶子氏をお招きし「真の国際人とは―私を生かす、共に生きる―」をテーマに、約180名の方にご来場いただき、盛大に行うことができました。



講演は、国際人という英訳は「International man」ではない、ということから始まりました。宇宙飛行士の毛利衛氏が「地球に国境はなかった」と話した例を出しながら、一方で現状では人為的に国境が引かれ、民族がバラバラされているという現状にも触れられました。また、黒人の友人との会話の中のクレヨン「肌色」を例に出して、自分の視点だけで物事を考えることしか出来ないようでは真の国際人ではないと説明されました。

次にゆるぎない人格の形成の観点で新渡戸稲造を通して、また、他者との和の観点で賀川豊彦を通して話され、「ゆるぎない自己確立ができて、隣人と共に生きることが出来る人」こそが真の国際人だと説明されました。そして、二人に共通することとして神との揺るぎない縦関係をつないでいたことを話され、YMCAも神との関係をなくしてはありえないと話されていました。そして、今まさに日本が国際社会から大きな期待をされている、じゃんけんを例に日本人特有の時間がかかっても結果が出るような寛容の思考が国際社会では求められていると話されました。

また、日本女性の社会参画率について触れられ、国際社会との比較の中でも遅れており、女性たちには積極的に責任を引き受け、社会を変革する使命感をもって社会に出て行って欲しいと力を込めて訴えておられました。

最後には、「どのような状態に置かれても、私が変われば世界は変わる!」と思える人になってください。と、優しい語り口でしたが、とても力をいだけた講演会でした。

その後のシンポジウムは、真の国際人とは、ぶれずに自分の意見を一人称で語ることに出来る人ということや、平和とは隣の人と暖かくいられることなど、平和・愛・いのちの大切さを伝え守り、育てるYMCAのあり方を確認しあうシンポジウムになりました。

そして最後は、湊氏の「赤く色づいても紅葉、黄色く色づいても紅葉。せひみなさんも、自分色に色づいてほしい。」という力強い言葉で締めくくられました。

125周年という大きな節目を迎えるに当たって、YMCAが大切にしてきた活動への思いを確認し、先人から、神戸YMCAに集う今を生きる皆々と思いをひとつにし、新たな歩みを進める機会となりました。

神戸YMCA創立125周年記念音楽イベント 音楽と祈り～あなたとともに～

神戸YMCA創立125周年記念行事の締めくくりとして、音楽イベント「音楽と祈り～あなたとともに～」を行います。これは125周年のテーマである「平和・愛・いのち」を音楽と祈りで表現しようとするもので、老若男女を問わず神戸YMCAに交わる多くの方々と共に創り上げようとするイベントです。神戸YMCAがこれまで歩んできた道のりを、「誕生」、「成長・旅」、「崩壊・挫折」、「再出発と現在」という4つの大きなパートに分けて、それぞれのテーマに合わせた音楽や歌、祈りを交えて表現していきます。

この音楽イベント開催にあたり、また神戸YMCA125周年を祝って作られた歌を、一部ですがご紹介いたします。フィナーレでは出演者・参加者のみなさんでこの歌を共に歌い、喜びと未来への希望を持って125周年をお祝いしましょう。

「あなた(YMCA)とともに」 僕らはこの街で 手を取り合って 未来へ進んで行こう あなたとともにここに生まれ そしてあなたと出会う いつも歌いながら笑顔つくったね つらい時にも 悲しい時も 涙こらえて ずっと一緒に歩いてきたね 僕らはこの街で 手を取り合って 未来へ進んで行こう あなたとともに

神戸YMCA創立125周年記念音楽イベント 音楽と祈り～あなたとともに～

日時：2012年1月7日(土) 13:30開場 14:00開演 15:30終演(予定)

場所：神戸市東灘区民センター5F うはらホール

費用：入場無料 申込：参加には事前申し込みが必要。詳細は音楽イベントチラシをご覧ください。

第53回 神戸市民クリスマス 12月16日(金)

会場：日本キリスト教団神戸教会

- I. キャロリング 教会や街角でクリスマスキャロルを歌い会場へ <北野コース> 17:00 北野町広場集合 (風見鶏の館前) <元町コース> 17:00 大丸神戸店前集合 (元町側入口の北) II. 子どもプログラム 17:30～ パネルシアター・クラフト・キャンドルアート III. ほっとタイム 18:00～ ホットドリンクコーナー 他 IV. 祈りと祝福のとき 19:30～ クリスマスメッセージ・クリスマス曲の合唱 など

お問い合わせ 神戸市民クリスマス委員会 TEL 078-241-7201 (神戸YMCA内)

マイエポックストーリー ⑥

森 紘一 (常議員、神戸学園都市ワ イズメンズクラブ会長)

「YMCAと出会って私はこう変わった。」 私は現在70歳。気持ちはまだ若い。これも、YMCAに関わるようになったからと言ってよい。現役時代は機械メーカーのエンジニアで、会社一筋の真面目な堅物人間であった。転職して1989年、私が49歳のときに訪れた。転職で名古屋から神戸に家族ぐるみで移動した。神戸には知己もなく、YMCAとの何の関わりもなかったが、仕事上で英会話もできた方がよいということもあり、三宮YMCAの英会話教室に通うことにした。またここにはウエルネスセンターがある事も知り、汗かきアワーにも参加するようになった。YMCAの第一印象は、若いスタッフがたいへん親切で暖かく、家族的雰囲気を感じとても居心地が良いということであった。その後、学園都市にもYMCAがあることを知り、自宅から近いこともあり、英会話・ウエルネスともにこちらに移った。

学園都市YMCAでは、学園都市ワイズメンズクラブ設立メンバー募集のビラを見て入会した。英会話は上級クラスにアップし、ウエルネスもエアロビクスの中級クラスにチャレンジするようになった。あるときYMCAセミナーに参加し、当時の山口徹総主事から「YMCAは会員による運動体である。あなたがたは利用会員に留まっ てはいけない。YMCA運動を推進するボランティア会員にならねばならない。ボランティアは自発性、無償性、社会性、先駆性を備えた人である。」という言葉が聞き、ふっと心に感ずるものがあった。

以来、ワイズメンズクラブを通じてYMCAにどっぷりはまり込み、委員なども引き受けるようになった。これらの活動を通じて若い人から同年輩の人までずいぶん知り合いが増えた。もう一つ、ワイズがきっかけとなってローンボウルズというスポーツにも巡りあった。私はクリスチャンではないが、キリストの「弱き他者に手をさしのべよ」という教えには共感するものがある。まさにYMCAが私の世界を広げてくれたと言ってしまう。これからのYMCAで更なる参加を続けていきたいと思っている。まだ若い(つもりである)から。

神戸YMCA 125周年記念号

神戸YMCAと私

座古谷 光夫 (名誉会員)

私が正式に神戸YMCAの会員になったのが、昭和23年の秋でした。この時、YMCAも戦後間もない頃で、神戸は2回の空襲にみまわれ、一面、焼け野原でした。ただ、幸いなことに山手に在ったほとんどの教会の建物は無事残っておりまして。

神戸YMCAも第II期の会館が焼失しましたが、神戸教会の地下を借りて教育事業(英語学校)が始まりました。その頃は、まだ会員数も少なく、この年の秋にみんなで頑張つて会員を増やしましょうと言うことで第1回の会員増加運動がはじまったところでした。

私自身は、その年の春に友人に誘われてYMCAの英語学校に入学させていただきました。この時の会員募集で、私は当時の教育部の担当主事から、「YMCAは英語だけでなく、色々やっているぞ」と声をかけられ入会致しました。その半年後に中山手会館の最初の建物ができ、続いて山手幹線に面した所に地下1階、地上3階の本館、更に体育館と次々に建てられました。その頃には会員活動も活発になり、クラブ活動やレクリエーションとして色々な運動クラブができ、会員数も増えてきました。年数が経つにつれ建物も傷んで来て、立て替えるか新しい所に移転か、と言う事になり、現在の加納町会館(第4期会館)ができ、新しく出発しました。

ただ、私自身は太平洋戦争が始まる前年に神戸YMCAの英語学校に入学していて、学校の休憩時間に、赤レンガ会館の中にあつた体育館でバスケットボールのグループが練習をしているのを見ていた記憶が残っています。最後に若い頃の私の心の中にキャンプやグループワークを通して大切なものを教えてくださった今井先生(現神戸YMCA名誉顧問)に心から感謝したいと思っています。

かけがえのないのちと平和 ~ YMCA国際協力募金 ~

今年も秋から冬にかけてYMCA国際協力募金の強化月間が始まりました。

YMCA国際協力募金は、世界125の国と地域にひろがるYMCAのネットワークを通じて、すべての人びとが国・民族・宗教の違いを超え、平和に生き生きと暮らすことができる社会をつくりだすための国際協力・地域奉仕活動に用いられています。

今年3月11日に発生した東日本大震災、その後も日本国内外で多発している自然災害への取り組みが、今年の大きな焦点です。YMCAでは、災害被災地支援のための募金活動を行っています。東日本大震災に対しては、緊急支援募金活動を終え、中長期にわたる地域復興のための支援募金活動を行なっています。災害に見舞われた地域にあるYMCAではさまざまな支援活動に取り組んでいます。地域に根ざした青少年団体として、青少年が救援・復興の担い手として全人的に成長することを目的とし、「人といのちを育む」活動を展開しています。とりわけ子どもたちに対しては、継続的な心のケアが行なえるよう、中長期的な活動に取り組

み、また、長期にわたり地域復興の担い手となる若者の育成を行っています。

16年前、阪神淡路大震災を経験した神戸、被災地に生きる私たちは、地域の人々とともに寄り添い、互いに支えあうことを学びました。その私たちだからこそさまざまな災害、紛争、貧困など、困難な生活を強いられている地域や人々に目を向けることができます。そこで暮らす人びととともに活動するYMCAではひとりひとりのいのちが光り輝くように、すべての人びとが生き生きと暮らすことができるように協力し支えあう社会を創ります。

神戸YMCAの国際協力募金全体として、次のような目的のために用いられます。

- ①国内外の災害支援
- ②アジアの農村支援
- ③アフガン・パレスチナ難民支援
- ④海外からの日本語学習者支援
- ⑤エイズ・プロジェクト
- ⑥国際/地域活動の指導者育成

第26回神戸YMCA チャリティゴルフ大会

10月19日(水)

参加者

54名

収益金

約220,000円

こども奨学金

24,100円

協力者氏名

- 足立康幸、市原法雄、上野恭男、大崎正博、岡野泰和、奥山泰仁、尾上尚司、柏原佳子、加藤光信、加輪上敏彦、功力正士、熊谷親啓、黒崎敬三、元津 彩、河野 彰、佐野 睦、島田 恒、清水規裕、清水真由美、清水泰人、進藤敬介、杉村 肇、武内浩子、武田寿子、武本雅行、多胡葉子、谷 紳一、

幼稚園



幼稚園では、初めて子育てをする地域のお母さんに、安心して未就園の子どもとお母さんが過ごすことのできる空間を提供しています。園庭を開放し在園児と一緒に体操をしたり、砂場で遊んだり、また、園のおもちゃを使って遊びながら、他のお母さんたちとお話できるベビールームや、いっぱい身体を動かすことのできる「体育館で遊ぼう」など毎回40組以上の親子が遊びにきています。そこでは子ども同士の交わりだけでなく、「顔」を合わせることで親同士の新しい「つながり」や「出会い」が生まれてきています。「小さな集まり」では、わらべうたや触れ合い遊びを通して、「いつも家で歌っています」「おむつを替える時、助かっています」等、子育てのちょっとした手助けとなっているようです。

顔と顔を合わせ、会話することによって、心と心がつながり、共に子育ての悩みや喜びを分かち合いながら、子どもたちの成長を見守り、親同士の信頼関係を築くお手伝いや、幼稚園という場所が「開かれた安心して過ごせる場所」と知っていただけるよう日々励んでいます。



保育園



5歳児の「ゆり組」さんたちは、保育園のみんなのあこがれ。運動会では「対抗リレー」や「パラバルーン」で、みんなの大きな歓声を集め大活躍。クリスマスには、イエス様の降誕劇をひとりひとりがキャストとしてみんなを感動に包んでくれます。保育園に入園した頃を思い返すと、特にこの1年の変化は大きく感じられます。誕生会ではどの子どももみんながインタビューに「来年は小学生」と胸を張って答えてくれるゆり組さん。この秋も次のステップへとひとりひとりが大きな成長を見せてくれています。

現在、YMCA保育園では園舎の増改築工事を行なっています。園児、園児保護者のご協力もあり、よりよい環境づくりが行なわれていることに感謝致します。ご不便をかけながらも、職員、園児一同新しい保育室や食堂、ホールが与えられることを心待ちにしています。工事の完成予定は春、春の訪れを心待ちにしています。



感謝

寄付金

- 125周年協賛金(順不同・敬称略) 神戸キリスト教書店、濱 浩一、東 寛和、松田康之②
- 学園都市ワイズメンズクラブ②

(敬称略・順不同)

～東日本大震災被災児童支援制度～

神戸YMCAでは東日本大震災の発生を受け、5月より被災児童支援制度を開始しました。

皆様から神戸YMCAに寄せられた支援募金も活用させていただきながら、神戸近郊に避難している子どもたちが少しでも楽しい時間を過ごすことができるようにとの願いを込めています。

9月末現在、36件の活用があり、週に一度のサッカーやアクアティック（水泳）プログラムなどに加え、夏休みのキャンプや水泳講習会でも多くの子どもたちがYMCAのリーダーや友だちに出会っています。

「兵庫に来て早2ヶ月ですが、学校から家までの距離があり、放課後や夏休みに遊べる友だちがまだいません。そんな中、キャンプでの友だちとの交わりや心の充実感と富士山に登れたという達成感は大きな実りとなったと思います。帰ってきた子どもの笑顔にも救われる思いがしました。」

これは富士登山キャンプに参加したキャンパーの保護者の方のメッセージです。子どもたちは、震災時の悲しい体験やその後の環境の変化の中で、その小さな胸に抱えられない感情を持っています。また保護者の方も、様々な不安やストレスを抱えて新たな生活をされています。

小さなことかもしれませんが、今この瞬間に体験する一つ一つのことやYMCAでの出会いが、未来を生きる子どもたちの力につながればと願います。今後とも皆様からのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



東日本大震災被災児童支援制度

神戸YMCAは、東日本大震災によって、被災した児童の心身の健康な成長を支援することを目的として、日常プログラムや季節プログラムへの参加費用を助成しています。ご希望される方は神戸YMCAのお近くのランチへお尋ねください。

～災害とこころのケア研修報告～



神戸YMCA国際・奉仕センター 永井道子

2011年9月18日～25日、日系NPO/北カルフォルニア日本文化コミュニティセンター（JCCCNC）主催で開催された「災害とこころのケア研修」に参加させて頂きました。

神戸YMCAとJCCCNCとの関係は、1995年の阪神淡路大震災で多くの救援復興活動をして下さって以来、こころのケア研修・親善バスケット・日本語学習等を通して交流を続けてきました。このたびの東日本大震災でもYMCAに対して多額の募金を頂戴しています。

今回の研修も前回同様、本間玲子博士（Dr. Reiko Homma True, カルフォルニア臨床心理大学院教授/元サンフランシスコ衛生局副局長）がコーディネーターとしてご尽力くださり、またストレスマネジメント専門家として米国における災害後の精神援助システムの歴史やこころのケアの理論他をご指導して下さいました。

研修は、JCCCNCで多くの方々を迎えられ、事務局長のポール・オオサキ氏（Mr. Paul Osaki）のオリエンテーションから始まりました。「建物は建て直しが可能であるが、人の精神を立て直すのは難しく時間も掛かるが、ぜひ皆さんと取り組んでいきたい」と強く語られました。

研修では、セラピーの基礎知識や手法を学んで実際に体験するワークショップや、動物虐待予防センター、サンフランシスコ市消防署医療隊員の研修施設、障がい者の自立支援センター、児童虐待予防センター、自殺予防センター、路上生活をするユース支援センター、シニアケアセンター等、実に多くのケア（生活・心・身体）活動現場を訪問する機会が与えられました。

人間は、怖い恐怖や身の危険など困難な出来事に直面した場合、不安・パニック・怒り・疲労が起こるのは当たり前のことであり、それを和らげる力も持ち合わせていること、決してその人が精神的に弱いわけではないことが語られました。また、災害時には援助者のケアも重要であることが何度も伝えられました。訪問する先々での相手の思う心とその行動力は確かなものばかりでした。今回の研修を活かし、YMCA活動を通して、目の前の人に寄り添う、ことをこれからも継続して取り組んでいきます。

そのためには聖書にもあるように、変わることは、人々の自由や権利を奪い、苦しめていくことではない。私たちが古いあり方と決別した新しい体・命・ビジョンを手に入れることとなること。今回、一番心に残ったことは、基調講演で話された「我々の責務は「人を変革させるのではなく、人々が居心地のよい場所を捨て、自らを変革したい」という衝動にかられるような、違和感のある体験や試練を提供することにある。人々が自らの変革のプロセスを始めるのに必要な新たなビジョンと勇気を見出すことを願い、種を植え、栄養を与え、これらの種の成長を信じ励ますだけである」ということです。まずは私たちが自ら居心地のよい場所から飛び出し、個人・地域・社会の壁を自分や苦しみを体験し変革していくことが必要であると感じました。



ソナタ 奏鳴曲 No.50



総主事 水野雄二

あなたってほんとにいるの？

現在、神戸YMCAの幼稚園には400名を越える園児が、保育園には300名を越える園児が在籍し、日々の保育活動をしています。園での礼拝はもとより食事の時や様々な場面で、小さな手を合わせて神様にお祈りをする園児のかわいい姿を拝見する機会があります。子どもたちにとって、「神様」とはどのような存在なのでしょう？

現代社会に生きる私たちは豊かな宗教心をなくしてしまったように思います。科学が進歩し、デジタル化が急速に日常を覆い、バーチャルな世界が人間の可能性を無限に広げているかのような時代になりました。科学万能主義や合理主義の世の中で、私たちは何か目に見えないものに祈り、拠り頼むことがなくなってしまったのではないのでしょうか。

しかし、幼い子どもたちは見事に神様との対話をします。その対話が子どもたちに夢を与え、力を与え、愛を与えることを信じています。随分以前に「かみさまへのてがみ」という本がありました。幼い子どもたちが神様に宛てて書いた手紙です。その一つを紹介しましょう。子どもたちの心の豊かさが感じられますが、その豊かさを壊していくのは、大人かもしれません。

「かみさま、あなたってほんとにいるの？ そうはおもっていないひとたちもいるわ。もしほんとにいるんなら、すぐにどうにかしたほうがいいわよ。ハリエット・アン」

11月13日からの一週間は世界YMCA/YWCA合同祈禱週として、世界中で一つのテーマを学び、祈りを合わせます。世界が豊かになって、知識が増え、便利で快適になりましたが、それでも私たちは弱い存在で、自分を越えた、人間を越えた「何か」が必要なのではないのでしょうか。子どもたちに倣って、胸に手を合わせてみませんか？



(デューラー「祈りの手」)

シリーズ「つづきのまじ」20

さる、9月6日～10日の日程で開催された、第18回アジア・太平洋YMCA大会に参加した、職員の本亮司さんからの報告です。大会テーマは、「Breaking Barriers, Transforming Lives—壁を乗り越え、変革を人と社会とYMCAに—」です。アジア・太平洋YMCA大会は、アジア・太平洋同盟（APAY:Asia Pacific Alliance of YMCAs）に加盟するアジア・太平洋地域にある27のYMCAが一堂に会し、目的理念・課題と目標・運営組織等を定める最高決議機関として4年に一度開催されます。今回は第18回目としてマレーシア・ペナンで開催されました。人種・Gender・貧困・宗教・民族、教育等、アジア・太平洋地域においての壁は多数あります。そこでこれからのYMCAがすべきことは何なのか？そのことについて5日間様々な角度で話し合われました。

ウエルネスセンター三宮	☎078 (241) 7202
YMCAホームヘルパーの事務所	☎078 (241) 7237
ランゲージセンター	☎078 (241) 7204
専門学校	☎078 (241) 7203
西宮YMCA	☎0798 (35) 5987
三田YMCA	☎079 (559) 0075
余島野外活動センター	☎0879 (62) 2241
国際・奉仕センター	☎078 (241) 7204

KOBE
YMCA
GOAL 2011

Information

ウエルネスセンター学園都市	☎078 (793) 7401
西神戸YMCA	☎078 (793) 7402
西神南YMCA	☎078 (993) 1560
須磨YMCA	☎078 (734) 0183
YMCA保育園	☎078 (794) 3901
西宮YMCA保育園	☎0798 (35) 5992
西神戸YMCA保育園	☎078 (792) 1011
YMCAちとせ幼稚園	☎078 (732) 3542
西神戸YMCA幼稚園	☎078 (997) 7705



今年も子どもたちの冒険心をくすぐる冬がやってきました。YMC Aでは、六甲山の雪遊びを楽しむ1泊2日のウィンタースクール、アイススケートや水泳、バスケットなどの短期講習会など、子どもたちがワクワクするようなプログラムが盛りだくさんです。スキーキャンプでは、リーダーたちと一緒に楽しみながらチャレンジをしていきます。スキーが初めてのお友達もYMC Aのスキーキャンプなら、あっという間にシェパードを描くことができるようになるのです。子どもたちの成長のキワードは「楽しさ」です。未知なる感動と出会いが彼らの楽しさを広げていき、心と体の成長を促進していきます。この冬、豊かな大自然の中でどんな大冒険が待ち受けているでしょうか。一人でも多くの子どもたちの「いのち」がキラキラと光ることを願います。ぜひ、YMC Aのプログラムにご参加ください!

**ウィンター
プログラムの
ご案内**

第26回 神戸YMCAクリスマスカードコンテスト

対象: 幼児(3~5歳児)、小学生
応募方法: 手作り、できあがり22cm×15cm以内のもの(片面のみ審査)
 氏名、性別、生年月日、年齢、学年、住所、電話番号、学校(団体)名を添付し、事務局へ持参または郵送してください。
送付先: 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15 神戸YMCA三宮ランチクリスマスカードコンテスト事務局 宛
お問い合わせ: 神戸YMCA三宮ランチ Tel.078-241-7202
担当: 小寺・小菅
応募締切: 2011年12月2日(金) 神戸YMCA必着
作品展示: 12/12(月)~12/24(土)

神戸YMCA ベルクワイアー クリスマス コンサート

日時: 12月23日(金・祝)
15:00開演 (14:30開場)
場所: カトリック 神戸中央教会
入場料: 1,500円 (小学生以下無料)

世界YMCA/YWCA 合同祈禱週のご案内

2011年 11月13日(日)~19日(土)

「影響を与える声」

若者は権利と正義を呼び求める世界YMCAと世界YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を中心とする1週間(2011年度は11月13日~11月19日)を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、共に祈りを守ってきました。この一週間は、YMCA-YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認するための一週間です。

Photo Topics



須磨ビーチフェスティバル 9/11(日)
須磨区地域スポーツクラブ、須磨区役所、神戸市体育協会等との協働で浜辺のスポーツ体験などを行いました。



ファミリーフィッシングキャンプ 9/23(祝)~24(土)
1泊2日での家族での余島キャンプ。11家族が参加して、釣りやカヌー、BBQを楽しみました。家族と家族がつながることができました。



神戸YMCAサポートプログラム おこめ部
三田にある農家の方のご協力をえて、田植えから刈り入れまで1年をかけて田んぼの世話をしています。このプログラムを通して食への関心、就農への関心を育てることが出来ればと願っています。



高等学院入学式 10/6(木)
秋晴れの下、12名を迎えて後期入学式を行いました。卒業に向けて一歩一歩確実に進んでほしいと願っています。



専門学校日本語学科入学式 10/6(木)
神戸YMCA学院専門学校日本語学科の入学式を行いました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ日本へ!!ようこそ神戸YMCAへ!!



たるみ健康いきいきウオーク2011 10/15(土)
区民スポーツの日に203名の参加者が集まり、神戸マラソンのコースを含む垂水区内を交流しながら歩きました。

人事のお知らせ

≪採用職員≫
7/11 入職 前田恵美さん (YMCA保育園)

★★ 個人消息 ★★

【ご結婚】 おめでとうございます。
8/1 真杉加奈枝さん (YMCA保育園)
高松良太さんと

【表彰】
平成23年度兵庫県高齢者特別賞
(2011年9月13日付) 今井鎮雄顧問